

横浜市立大学生生活協同組合における上級生講師による 有料PC講座の立ち上げについて

大野潔*1・古塚未佳*2・金丸由佳*3・熊谷昂太*4
Email: hakkei-shop@ycucoop.or.jp

- *1: 横浜市立大学生生活協同組合八景購買書籍部
- *2: 横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系
- *3: 横浜市立大学国際総合科学部理学系
- *4: 横浜市立大学国際総合科学部理学系

◎ Key Words パソコン講座, 有料化, 上級生講師・スタッフ

1. はじめに

横浜市立大学生生活協同組合では、かねてから無料のPC講座を会員向けに提供していたが、2016年にこれを有料化した。

その際、上級生スタッフの確保・上級生スタッフの不安解消・学生講師の確保・生協職員の不安解消・カリキュラム作成・学生講師&上級生スタッフの育成・会場確保・大学の反応に関する不安といった問題や課題に対応する必要があった。

本発表では、これらの問題や課題に対する取り組みを中心に有料化のプロセスについて報告する。

2. PC有料講座立ち上げの経緯

生協で販売したパソコンを売り放しにしない、もっと使いこなしてほしい、学生の成長に貢献したいという思いから有料で一定のボリュームのある講座を立ち上げる検討を始めた。

下記の不安要素を潰し、有料講座を開始することとなった。

3. 不安要素や課題解消の取り組み

3.1 上級生スタッフの確保

上級生スタッフの確保は、新学期に関わっていたパソコン販売スタッフに加え、PC修理利用者・参加者が一人だけだった無料のパソコン講座参加者・PC無料点検時にお誘い・生協レジバイトの学生・学生委員会を辞めた学生等に個別に声をかけ集まっていた。

また、さらにその友達も誘ってもらおうようお願いし、さらにスタッフを広げた。講座開始時には19名のスタッフが揃った。

3.2 上級生スタッフの不安解消

講座立ち上げにあたり、35000円の授業を学生がやることへの不安は、ほぼ全員口にしていった。

大分大学生協のPC講座の全10回の内容が書かれているプリントをもとに説明した。北九州大学生協のPC講座の動画・大分大学生協のPC講座スタッフが作成した講座紹介動画等をみんなで視聴し、イメージをつくった。

また、まずは立ち上げることが大切なので、千葉大生協や理科大学生協での実績がある株式会社ライワープという企業に協力を仰ぎ、授業づくりや運営のサポートを委託することにした。

大学の授業である情報コミュニケーション入門との関係も不安要素としてあった。これについては、アシスタントとして受講生6人につき1人の先輩が入ることにして、差別化しました。

3月末頃には、申込者が想定定の150名に達し、週3回実施から週4回実施に変更しました。その段階でスタッフ一人当たりが対応する新入生が多くなることが予想され、さらに不安が増大したが、急遽新メンバーを3人増員した。

3.3 学生講師の確保

講師の確保については、11月のミーティングで北九州大学生協の動画を見た直後に、動画を見て講師をできると思った人に挙式をしていただいたところ、数名あがった。さらに続けて、次年度になって4月から7月1週目まで毎週1日から2日講師を実際に行ける人に挙式をしていただき、2名から手が挙った。

数日後、さらに1名、講師を志願していただき、なんとか講師3名体制が整った。

3.4 生協職員の不安解消

生協職員の立場でも10回の講座は不安だった。九州のスタッフ研修でいただいた資料やメモを何度も見直し、横浜市大での実施を想像し、イメージを膨らませた。北九州大学生協の講座動画を学生に見てもらい前に何度も視聴した。講座運営の実績のある株式会社トライワープの方ともお話しを何度もした。

回数が多い方が受講生もよりスキルアップし、先輩スタッフの達成感もより大きくなる可能性が上がることで、スタッフ集め・研修などの初期にかかるエネルギーは回数が4回でも10回でもたいして変わらないので10回の講座を実施することを決意した。

3.5 カリキュラム作成・学生講師&上級生スタッフの育成

横浜市立大生協には、経験やノウハウがないため、株式会社トライワープとともにすすめていった。九州地区のカリキュラムやテキストも参考にさせていただいた。

講師3名を中心に授業づくりを行った。運営の中心を担う教師マネージャーも3名の学生に担っていただくことになった。講師と教室マネージャーにはリーダーシップ研修等のトライワープ主催の研修に参加して、スキルアップを図った。

アシスタントの学生には教室マネージャーが講師になり、アシスタント研修を開き、心構えから講座時間中の動き等の意思統一をすすめた。

3.6 会場確保

会場は生協食堂内にあるゲストルームで実施することにした。6人掛けのテーブルがあるので、6人1グループにして、そこに先輩がアシスタントとして1人入ることにした。時期は、新歓コンパの落ち着く4月24日月曜日スタートさせることにした。

3.7 大学の反応

講座を具体化する際に、情報コミュニケーション入門を取り仕切る先生に、講座の趣旨と概要を説明させていただいた。先生には喜んでいただくことができた。

パンフレットができた段階で、その先生にパンフレットをお届けし、先生からも、学生に宣伝します、というお言葉をいただいた。

4. PC有料講座の概要

- ビジョン
1. 大学の課題に困らない
 2. 満足度100%
- ミッション
1. 生徒→アシスタント→講師のつながりを強める。
 2. 講師→アシスタント→生徒へのフォロー

- クレド
1. メリハリのある楽しい雰囲気
 2. 責任感を持つ

特徴：

- ・ Word・Excel・PowerPointのスキルアップ
- ・ 初回と最終日にスキルチェックを実施し、どれだけスキルが上がったか効果測定をする。
- ・ 受講生6人につき上級生アシスタント1名

5. PC有料講座の結果

5.1 申込者数と出席状況

PC販売数300台・講座申込者177名・講座付帯率59%
開講前キャンセル者10名

回別出席者数・出席率・曜日別出席数

第1回	136名	・81.4%	月41名	火24名	水44名	木27名
第2回	137名	・82.0%	月41名	火24名	水44名	木28名
第3回	137名	・82.0%	月44名	火22名	水43名	木28名
第4回	120名	・71.8%	月40名	火21名	水34名	木25名
第5回	118名	・70.6%	月37名	火20名	水37名	木24名
第6回	111名	・66.4%	月38名	火16名	水35名	木22名

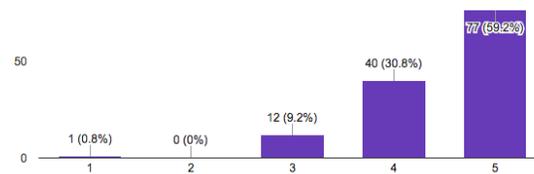
※出席率の母数は初回同様の167名で計算。

5.2 受講者の反応

「情報の授業だけではスキルが習得できないがこの講座があって、しっかり身につけることができる。次年度のスタッフもやりたい。」等の声も挙がっている。毎回実施しているアンケートでも高評価を得ている。

今日の講座の全体評価をお願いします！

130件の回答



5.3 先輩講師&アシスタントの成長

「講師をやることで、人前で話す力・進行する力・雰囲気をつくる力・トラブルに対応する力が身についた」「アシスタントをやったまったく共通点のない人とも話せるようになった」「身の周りの困っている状況や人に気づき、対応できるようになった」「素晴らしい仲間と出会えた」等が語られている。講座を通じて、コミュニケーション能力や協調性等社会で役立つ能力が身についている。

6. 最後に

次年度以降も、上級生スタッフが就職活動や社会に出てから役立つスキルを身につけながら、新入生のPCスキルアップに貢献できる講座をすすめていく。

関わった全ての学生がこの講座で得たことをもとに社会に出て活躍することを願う。